



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 鈴与シンワート株式会社
コード番号 9360 URL <http://www.shinwart.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 成岡 謹之輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 佐津川 吉秀

TEL 03-5440-2800

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,064	8.6	182	△10.7	161	△15.7	48	△56.1
23年3月期第3四半期	6,504	1.2	204	△0.4	191	1.3	111	△2.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 41百万円 (△60.9%) 23年3月期第3四半期 106百万円 (△6.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3.39	—
23年3月期第3四半期	7.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,519		1,601			21.3
23年3月期	7,334		1,604			21.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,601百万円 23年3月期 1,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2.50	2.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,545	7.2	315	△5.8	324	4.0	123	△33.2	8.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 鈴与シンワ物流株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,500,000 株	23年3月期	14,500,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	283,893 株	23年3月期	18,581 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	14,375,107 株	23年3月期3Q	14,482,246 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(追加情報)
トラック(その他有形固定資産)は、従来耐用年数を5年として減価償却を行ってきましたが、当連結会計年度において過去の実績に基づく平均使用期間を算定した結果、耐用年数7年を採用することとしました。この結果、従来の方法に比較して、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が2,165千円ならびに四半期純利益が1,299千円それぞれ増加しております。

目 次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2 . サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から徐々に回復しつつありますが、歴史的な円高、株価低迷、欧州の財政危機等による国内景気の下振れリスクなど厳しい事業環境が続いております。

このような厳しい経営環境のもと、当社グループの売上高は70億64百万円（前年同四半期比8.6%増）、営業利益は1億82百万円（前年同四半期比10.7%減）、経常利益は1億61百万円（前年同四半期比15.7%減）、四半期純利益は48百万円（前年同四半期比56.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

売上高においては、情報サービス事業は4年目を迎えたデータセンター事業が大きく増加しております。

また、主力のソフトウェア受託開発事業では、足踏みが続いていた首都圏においても物流システム、Webシステムを中心としたシステム開発案件が増加しており、回復基調になっております。

その結果、売上高は45億48百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

物流事業全体の売上高は25億19百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。

各事業の概況は次のとおりであります。

陸運事業は、小麦粉輸送は回復に転じたものの、セメント輸送の回復の遅れから、売上高は11億59百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。

港運事業は、港運元請業務が増加し、建材埠頭での骨材取扱も回復しましたが、当期より海貨業務（当四半期売上高85百万円）を倉庫事業に計上替えした影響により、売上高は4億38百万円（前年同四半期比15.5%減）と大幅に減少しました。

倉庫事業は、芝浦、大井、東扇島の各倉庫の取扱が堅調に推移したうえ、大井での増床と海貨業務の計上が寄与し、売上高は9億21百万円（前年同四半期比40.9%増）と大幅に増加しました。

セグメント利益においては、情報サービス事業は、売上増加に伴う利益増はあったものの、進行基準適用案件の減少や、営業・マーケティング強化のための経費が増加したため、営業利益はほぼ前期並みの2億16百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

物流事業は、陸運事業における利益の減少を、港運事業における建材埠頭での利益の増加と、倉庫事業の増収効果による利益の増加でカバーし、営業利益は2億73百万円（前年同四半期比17.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は1億84百万円、負債は1億87百万円それぞれ増加し、純資産は3百万円減少いたしました。

総資産の主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少52百万円、建物及び構築物の減少50百万円、現金及び預金の増加92百万円、仕掛品の増加1億48百万円、前払費用（その他の流動資産）の増加43百万円などによるものであります。

負債の主な変動要因は、賞与引当金の減少1億42百万円、給与未払金（その他の流動負債）の増加1億21百万円、退職給付引当金の増加67百万円、未払法人税等の増加64百万円、長期リース債務（その他の固定負債）の増加30百万円などによるものであります。

純資産の主な変動要因は、四半期純利益48百万円の計上、自己株式の取得33百万円、その他有価証券評価差額金の減少7百万円、土地再評価差額の増加24百万円、配当36百万円等による利益剰余金の取り崩しなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期における業績の進捗を勘案し業績予想の見直しを行った結果、平成23年7月29日付当社「平成24年3月期 第1四半期決算短信」にて発表いたしました平成24年3月期の通期の業績予想を修正しております。詳細は本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成23年11月1日に、物流事業(陸運事業・港運事業・倉庫事業)は新設分割により設立した鈴与シンワ物流株式会社に承継し、連結子会社に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等は、法定実効税率を基礎とした年間予測税率により計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	566,548	658,621
受取手形及び売掛金	1,439,767	1,386,922
商品及び製品	2,075	12,231
仕掛品	222,272	370,646
原材料及び貯蔵品	211	308
繰延税金資産	124,896	124,896
その他	27,716	80,571
貸倒引当金	5,618	3,964
流動資産合計	2,377,870	2,630,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,126,890	1,076,350
機械装置及び運搬具(純額)	281,451	249,240
土地	2,489,232	2,489,232
その他(純額)	233,606	283,952
有形固定資産合計	4,131,181	4,098,776
無形固定資産		
その他	160,313	145,564
無形固定資産合計	160,313	145,564
投資その他の資産		
投資有価証券	169,658	156,140
繰延税金資産	374,001	377,328
その他	145,286	136,054
貸倒引当金	23,552	24,683
投資その他の資産合計	665,393	644,839
固定資産合計	4,956,888	4,889,179
資産合計	7,334,759	7,519,413

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	528,865	534,623
短期借入金	2,092,500	1,701,900
未払法人税等	11,214	75,529
賞与引当金	302,249	159,775
受注損失引当金	1,770	1,678
その他	198,264	362,735
流動負債合計	3,134,863	2,836,242
固定負債		
長期借入金	1,312,200	1,705,575
再評価に係る繰延税金負債	224,087	199,437
退職給付引当金	947,209	1,014,855
役員退職慰労引当金	6,490	6,585
その他	105,540	155,518
固定負債合計	2,595,527	3,081,970
負債合計	5,730,390	5,918,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	765,000	765,000
資本剰余金	125,000	125,000
利益剰余金	561,804	574,308
自己株式	3,301	36,426
株主資本合計	1,448,503	1,427,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,768	13,964
土地再評価差額金	162,633	187,282
その他の包括利益累計額合計	155,864	173,317
純資産合計	1,604,368	1,601,199
負債純資産合計	7,334,759	7,519,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,504,970	7,064,240
売上原価	6,035,626	6,563,226
売上総利益	469,344	501,013
販売費及び一般管理費	264,511	318,151
営業利益	204,832	182,861
営業外収益		
受取利息	66	10
受取配当金	1,701	2,597
持分法による投資利益	10,893	-
受取賃貸料	16,318	15,678
その他	3,626	12,230
営業外収益合計	32,606	30,516
営業外費用		
支払利息	39,638	31,693
持分法による投資損失	-	9,663
その他	6,589	10,875
営業外費用合計	46,228	52,232
経常利益	191,211	161,145
特別利益		
固定資産売却益	13,468	-
投資有価証券売却益	-	9,088
特別利益合計	13,468	9,088
特別損失		
固定資産売却損	321	-
固定資産除却損	196	608
関係会社清算損	5,341	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,780	-
特別損失合計	12,639	608
税金等調整前四半期純利益	192,039	169,624
法人税等	81,002	120,918
少数株主損益調整前四半期純利益	111,037	48,706
四半期純利益	111,037	48,706

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	111,037	48,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,805	7,196
その他の包括利益合計	4,805	7,196
四半期包括利益	106,231	41,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,231	41,509

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,136,682	2,368,288	6,504,970	-	6,504,970
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,136,682	2,368,288	6,504,970	-	6,504,970
セグメント利益又は損失 ()	217,305	233,579	450,884	246,051	204,832

(注) 1 セグメント利益の調整額 246,051千円は、各報告セグメントに分配していない一般管理費等の全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,548,514	2,515,725	7,064,240	-	7,064,240
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	4,000	4,000	4,000	-
計	4,548,514	2,519,725	7,068,240	4,000	7,064,240
セグメント利益又は損失 ()	216,104	273,689	489,794	306,932	182,861

(注)1 セグメント利益の調整額 306,932千円には、セグメント間取引消去 4,000千円、各報告セグメントに分配していない一般管理費等の全社費用 302,932千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。